

棲み家のおすそわけ

周囲の環境に対して、時を選ばず、自由に
参加できる場をもつこと。

それが「思いやり」のある建ち方だと考える。

住宅のすみを周囲にひらくことにより、街の
棲み家をつくる。

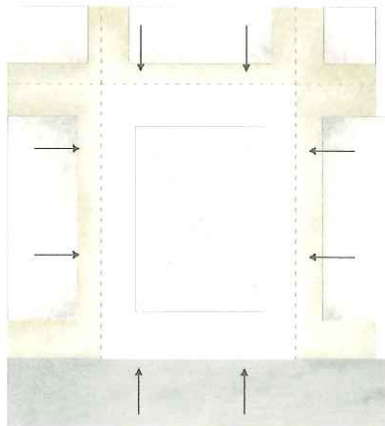
街の棲み家の延長に、住人のふるまいが表出
することで、他人が住人活動の場に参加する
きっかけをあたえる。

1枚の壁に様々な棲み家が連鎖することで、
居場所のグラデーションを生む。

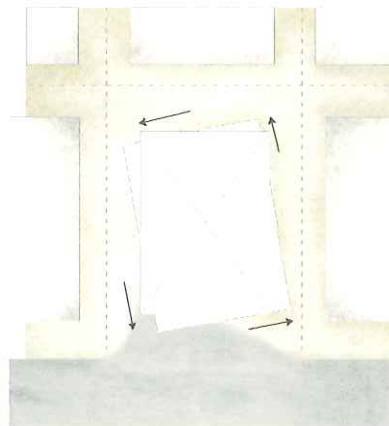
1人になれる「孤独の場」と、複数で集まれ
る「参加の場」を選択できる、思いやりのあ
る場をつくりたい。

料理上手な母 外が大好きな子ども 社交的なお父さん

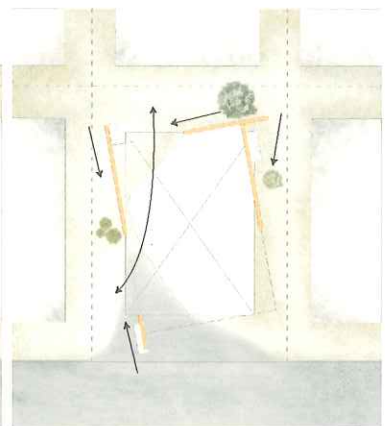
前面道路 8m			
歩道 2.5m			
N1	N2	N3	
S1	S2	S3	
前面道路 5.5m			



敷地に正対して建つ各住居

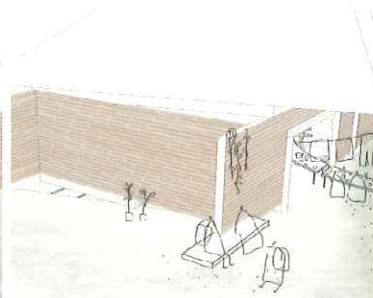
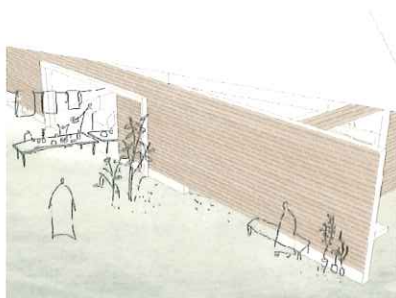
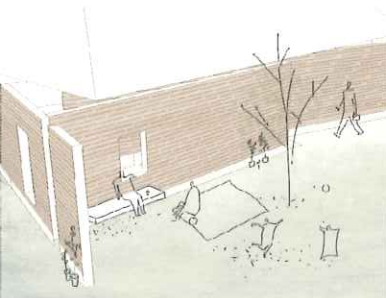


屋根に対して壁に少し角度を与える



内外と境界を繋ぐ仕組みを与える

1枚の壁が作り出すグラデーション



内外を横断する壁は「外部の棲み家」「屋根下の棲み家」「内部の棲み家」を作り出し、1枚の壁に緩やかな「棲み家」のグラデーションが生まれる。緩やかなグラデーションを持つ壁が、様々なアクティビティを誘発し、住人と隣人との関係を優しく作り出す。